

教育長就任のあいさつ

市議会の同意を得て、4月1日に教育長を拝命しました。阿蘇市の教育の充実と振興に関わらせていただく重責を思いますと大変身の引き締まる思いです。

子供たちはこれから変化の激しい、誰も予測できない未来社会を切り拓いて行くことになりま。阿蘇市の子供たちが世界に目を向け、グローバル時代に対応できる人材として必要な資質・能力を身につけるために、ふるさと学習の充実を基盤として、ICTの活用による情報化の推進と英語教育の充実にも取り組みたいと思います。本年度から児童生徒一人一人にタブレットが配備され、授業が始まります。ICTの活用により「個別最適な学び」の可能性

を広げ、子供たちが探求し、創造する力の育成に努めます。また、将来の日本を担う子供たち一人一人が持続可能な社会の創り手として、さまざまな課題を自分のこととして受け止め、課題解決に果敢に挑戦していく意欲と力を持った未来を築く人材を育成していかなければなりません。そのため、子供たちが失敗を恐れず、学ぶことが楽しいと感じる教育活動や環境が必要です。そして、自分で考えたり行動したりすれば、社会を少しずつ変えられるかもしれないという手ごたえを実感しながら、自分の力で前に進んでいく姿を大切にしたいと思います。子供たちが夢を描き、それぞれの可能性を高めていくために、地域の皆さまと

ともにコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進にも努めてまいります。「ふるさとを誇りとし、認め合い、学び合い、励まし合い、未来を拓く活力ある阿蘇市民を育成する」ため「安全・安心」な地域や学校づくりとともに社会教育のさらなる推進に誠心誠意努めてまいります。どうぞ、よろしくお願います。

阿蘇市教育長

坂梨 光一



教育長退任のあいさつ

平成24年3月末に教員を退職、5月に阿蘇市教育長に就任し、9年間職務にあたってきました。

子供たち一人一人に確かな学力を育成するため、土曜授業、地域未来塾、電子黒板やタブレット等の最新の居いう育機器の整備、小学校英語科の前倒し導入、英検受検者への補助等に取り組みました。課題はありますが、少しずつ向上の兆しが見えてきました。阿蘇は世界に知られた雄大なカルデラや草原があり、また各地域に優れた伝統文化が継承されています。子供たちにはこの阿蘇で育ったことに自身と誇り、将来への大きな夢を持って育ってほしいとの思いで、コミュニティ・スクールを全校に導入しました。地域学校協働活動が広がり、保護者や地域の人々に学習支援や環境整備等が活発に行われ、地域体験活動は地域の歴史や文化を学ぶ貴重な体験の

場となっていることを大変うれしく思います。

就任期間中、九州北部豪雨災害や熊本地震、中岳の爆発的噴火等の自然災害が発生し、甚大な災害に見舞われました。さらに昨年から新型コロナウイルス感染症が広がりました。市の職員の皆様と共にその災害復旧や感染症対策の仕事に携わることができたことは、貴重な経験となり、多くのことを学ぶことができました。

最後になりましたが、市民の皆様さまのご健勝と阿蘇市の発展を心から祈念申し上げます。

前教育長

阿南 誠一郎

